

教科	国語	書写	社会	地図帳	算数	理科	生活
発行者	光村図書	光村図書	日本文教出版	帝国書院	東京書籍	啓林館	学校図書
採択理由	<ul style="list-style-type: none"> 2年生以上では、巻頭に設けられた「国語の学びを見わたそう」ページにおいて、その学年での学習の進め方と学ぶことを確かめることができる。 「読むこと」単元に新設された扉ページには、作品・文章の導入とともに、読みの着眼点が示されており、学習の見通しをもつことができる。また、「これまでの学習」欄で単元の学習に関連する既習事項が示されている。 「読むこと」単元の「学習」ページでは、見開きページで学習過程が一覧できる構造となっている。また、学習過程の中で示された課題を深く考えるための学び方の例が複数示されている。対話場面については、イラストと話例により特に分かりやすく示されている。 「話すこと・聞くこと」「書くこと」単元では、明確な見通しをもって学ぶための「学習の進め方」が示されている。 単元末には、身に付けた学びが「たいせつ」「いかそう」欄にまとめられている。「学習に用いる言葉」欄には、学習用語が明示されている。その内容は、明確で、1年生から6年生まで系統的に位置付けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 3年生以上の各教材に、「学習の進め方」が示されており、学習の流れがひと目で分かるようになっている。 2年生以上の全教材に、学習のポイントが分かる「たいせつ」欄が設定されている。 毛筆の教材は、左ページに大きくすっきりと示されている。 3～6年生で毛筆教材が39教材と、充実している。 国語教科書と連動した教材が、各学年に2つ以上設定されている。また、書写での学習を他教科にもいかせる教材が各学年に設定されている。書写で身に付けた力が国語科や他教科でも生きて働くように工夫されている。 書く力を伸ばす工夫として、1・2年生には、体感的に筆使いへの理解を深められるよう、児童の指にフィットする「なぞり書き用の文字」が示されている。1・3・5年生には、腕を大きく動かして文字を書く「空書き」が位置付けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 3つの視点と方法を具体的に示す「見方・考え方コーナー」を設け、児童の問いや問題を話し合うところから学習をスタートさせ、問題解決的な学習過程を基本に構成されている。また、主体的な学びへ向かう手立てとして、問題解決的な学習が推進されている。さらに対話的な学びでの話し合いや交流活動の充実、深い学びでの多角的な思考と選択・判断する力の育成を図るためのページが充実している。 「学び方・調べ方コーナー」で調べたことや考えたことの発信の仕方等が取り上げられ、情報活用能力の育成が図られている。 児童の立場からの発言や話し合い、児童の力を発揮した調べ学習や表現活動、学習内容の整理の仕方、多角的な思考や選択・判断の内容等が示されている。 国土の特徴と関連させながら、自然災害と国や地域の防災の取組を学習できるような教材が各学年に掲載されている。 輪中（岐阜県海津市）・自動車工場（鈴鹿市）・四日市ぜんそくといった実際に見学できる位置にあり、身近に感じられることが詳しく載っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 濃淡の差が大きく、高いところと低いところが見分けやすい。 問いかけ形式で会話によって、自学自習で地図帳活用のスキルが身に付くことが期待できる。 世界の地域別の地図と合わせて国旗が示されている。 日本の気候については、気温（8月と1月）と雪の多いところを挙げているため、それぞれの地域の特色が理解しやすい。 「日本の歴史」のページでは、旧国名の地図と旧国名が付いた主な産物や世界文化遺産の写真が配置されている。主な出来事を並べた年表等もあって、情報量が豊富。 「世界の国別統計」の国の数が多い。 日本と関係の深いアメリカ合衆国について2ページを割いている。 様々な情報を入れた地図やグラフについては、いろいろな種類があり、情報量が豊富で多面的に捉えることができる。 図は、見やすく情報量が豊富で、多面的に捉えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 1～5年生が2冊、6年生が1冊になっており、発達段階に合わせて使いやすくなっている。 1年生は1冊サイズが大きな教科書で、教科書上でブロックの操作ができるようになっている。 カラーユニバーサルデザインによる配色と字体、色使いの工夫があり、見やすい。 単元ごとにイラストが変わり、児童の興味関心を引きやすくなっており、学習への意欲を高めることができる。 レイアウトでの配慮として、問題やまとめ枠囲みや分節改行の徹底、ページ番号の処理等、様々な児童に配慮したものになっている。 解決の方法を複数掲載し、比較しやすくなっている。 本時のねらいとなる数学的な見方・考え方が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 絵や図が多く、特に複雑な実験においては、その方法や準備物まで丁寧に示されている。 新学習指導要領に沿った問題解決の流れが明確であり、働かせる見方・考え方も分かりやすく掲載されている。 「つなげよう」のページでは、これまでの学習と日常生活での事象をつなげ、分かりやすく理解できるようにになっている。 教科書に掲載されているQRコードから、学習の参考になる情報を見ることができる。 プログラミングについては、アンプラグドによる導入で分かりやすく解説されている。また、コンピュータを使ったプログラミングでは、明るさセンサーと人感センサーの2種類が扱われており、実生活と結びつけやすい構成となっている。 防災教育との関連が強く、東日本大震災や熊本地震、御嶽山噴火等、最新の事例も含めて、写真や文章で分かりやすく解説されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元冒頭の扉ページには、大きな写真のページを設けることで、児童の期待感や意欲を引きだし、これから行う活動についての意欲を喚起するよう配慮されている。 児童の主体的な活動を支援する「ものしりノート」や「ちゃれんじずかん」、図鑑等のページが充実しており、児童が自分で活動を広げていけるよう、配慮されている。 児童の自発的な言葉をもとにしたリード文と、活動の楽しさと熱気を伝える写真やイラスト、親しみやすい4人のキャラクターと適切な吹き出し等が、自分でもやってみたいという主体的な活動を引き出すよう工夫されている。 上巻では学習を始めるにあたり、基礎・基本としての生活習慣や技能を身に付ける活動が分かりやすく示されている。 観察カードの書き方を例示し、科学的な見方・考え方の基礎を育むよう配慮されている。また、記録例は発達段階が考慮されたものとなっている。 巻末の「まなびかたずかん」では、生活科の学習で必要な技能が分かりやすくまとめられている。

教科	音楽	図画工作	家庭	保健	道徳	英語	
発行者	教育芸術社	日本文教出版	開隆堂	学研	東京書籍	東京書籍	
採択理由	<ul style="list-style-type: none"> 6年間を通して段階的、系統的に学習できるように題材が配列されており、学校や児童の実態に応じて年間指導ができるよう構成されている。 1年間でどのような学習をしていくのか掲載されているため、指導者だけでなく、児童が見通しをもって学習を進めることができる。 学習を支えるキャラクターが設定されており、ヒントを出したり、考えるきっかけが示されたりしているため、児童たちの思考が促される。 音楽を形づくっている要素を中心に、各教材が結び付けられて題材が構成されているため、学んだことを関連づけながら、学習を進めることができる。 楽器のイラストや写真、諸外国の音楽の様子が多く掲載されており、鑑賞のねらいを捉えやすい。 巻末に「みんなで楽しく」のページがあり、将来にわたって愛唱できる曲や、学校や児童の実態に応じて弾力的に扱うことができる楽曲が取り上げられている。 歌唱教材において、児童の心情に訴えかけたり、楽しんで歌ったりする楽曲が掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 書名の副題は「たのしいな おもしろいな」「ためたよ 見つけたよ」「見つめて 広げて」と、低中高の活動を具体的な言葉で示している。 題材名のデザインが工夫されていて、題材への意欲が高まる。 道徳とのつながりが書かれている。 各題材の学習のめあてが並列で明記されている。 ふりかえりが次の学習や生活にいかされるようになっている。 仲間と見合ったり話し合ったりしている写真が多い。 児童の写真からのふきだしが多い。 目次があり、活動の内容が分かるようになっている。 題材の下に書かれている紹介文が、「○○かな。」といった、試したくなるような言葉になっていることが多い。 題材数が多く、児童の意欲を高める工夫も多い。自由度が高く、児童の思いを元に授業を構成する上で、良い例としていかしやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 題材が、生活事象を捉え、生活に気づき、知識・技能を身に付けて生活にいかすという流れで統一されている。 家庭科の生活の営みに係る見方・考え方が題材ごとに児童に分かりやすく示されている。 見出しが思考を促すような書きぶりで、理由を考える基になる写真等の資料もついている。 他教科との関連が分かりやすく示されている。 実習手順は全て左から右へ写真とイラストで分かりやすく示されている。 布の裁ち方やぬい方、包丁の持ち方等、実物大の写真があり、右利き・左利きの両方があり、左利きの児童にも配慮されている。また、写真では隠れて見えない部分がイラストで描かれていて、どうなっているかが分かるようになっている。 スモールステップで繰り返し積み重ねて基礎・基本の知識・技能を習得できるように製作や調理の実習題材が組まれている。 ゆでる調理では、ゆで方だけでなく、なぜゆでるとよいのかゆでるとどうなるかを考えさせながら実習していく流れになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 原則 1 単位時間の学習内容が見開き 2 ページで構成されており、学習の流れの見通しをもちやすい。 全ページカラー印刷の A4 版であり、2年間の使用に耐えられる仕様になっている。 目次に資料の中身の記載もあり、児童の興味・関心をひきやすい。また、児童が実生活にいかせる内容等が脚注で示されている。 児童にとって学習しやすい書体や色合い、表現、配列は、ユニバーサルデザインに配慮して作成されている。 ICT 機器を使って、理解を促したり、調べたりできるよう工夫されている。 自分の考えをもったり、みんなで話し合ったりすることによって、学習課題を解決できるように工夫されている。 保健学習を行う意味が明記されていたり、児童にとって身近な課題が取り上げられていることで、主体的に学習が進められるように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 対話を通して、課題意識をもち、自らを見つめ直すことができるよう配慮されている。 多様な教材が取り上げられ、児童が自らの生活とつなげて深く考えることができるように配慮されている。 他教科と関連させて効果的に学習が進められるよう、関連教材が巻末に取り上げられている。 資料が児童の生活に近い設定となっているため、感情移入しやすい。 発達段階に応じて、生活にいかすための問題解決的な学習が取り入れられている。 教科書の巻頭に、「気づく」→「考える・話し合う」→「ふり返る・見つめる」→「生かす」という学習手順が分かりやすく示され、それに沿って、考え、議論する道徳の学習が進められるように構成されている。 見通しをもって学習を進められるように、各資料のタイトルに、学習指導要領の 4 つの視点のマークや、「学習のテーマ」が明示してある。 道徳的価値をより深めることができるように「学習活動ページ（出会う・ふれ合う／つながる・広がる）」が配列されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の身近な話題を題材とし、生活の中で英語を使う場面を重視するように設定されており、主体的に学ぼうとする意欲をもたせるよう工夫されている。リスニングの活動では、場面や状況をイラストや写真で示し、内容を推測しながら取組めるようになっている。 単元目標に対応した「めざす姿」を設定し、目的や場面、状況等に応じて児童が既習事項を選択して表現できるようにすることで主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫がなされている。 映像や音声が多く用いられ、効果的に学習できるよう工夫されている。教科書や分冊の紙面に、二次元コードや URL が示され、映像や音声等のデジタルコンテンツにアクセスでき、児童の関心・意欲を高められる。 別冊の Picture Dictionary は 2 年間使い続ける構成で、中学校の学習にも配慮して選定された小学校で学びたい語や表現がジャンルごとに収録されており、持ち運びにも配慮された小判になっている。本体は、文字の書きこみやすき等に配慮した大判になっている。1 ページ 1 単位時間扱いの見開き構成も使いやすい。 	